

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月22日

事業所名 鳥取県立中部療育園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			感染症対策のため、利用 者同士十分な間隔を取り ながら活動しており、参 加人数を制限している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			他事業との兼務としてい る。	基準は満たしているが、3つの業務を 担当しており、1人職種も多いため集 団活動を想定すると足りない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○			マットを敷いているため 多少の段差はあるが、状 況に応じて外すなどして いる。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	○			年に2回保護者アンケ ートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	○			2年に1回実施している。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	○			コロナ禍のため、オンラ インで参加した。	
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	○			観察や情報収集で行って いる部分もある。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している		○		事業提供日は平日の放 課後のみで、休日、長期 休暇中には実施してい ない。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	○			感染対策のため、集団活 動は実施していない。	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			別事業のため参加できない職員も多いが、極力行うよう努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			電子カルテに記載することで職員が閲覧でき、支援や視点の共有につながっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1度モニタリングを実施し個別支援計画を見直し作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			年度当初に学校の行事予定をもらい共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			学校、訪問看護事業所、他福祉サービス事業所との連携を主に行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			近年対象児童はいないが、必要に応じて行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	月2回、1時間の実施のため行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時、変更時に行っている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		感染症対策のため、保護者活動を中止しているが、保護者同士で情報交換等されている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報は発行していないが、その都度保護者へ「お知らせ」として対応している。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			ipadや視線入力を取り入れている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		感染防止の観点からも難しく、また、月2回、1時間の実施のため行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				マニュアルは作成されており、職員には周知されているが、今後は保護者への周知も徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			感染対策のため職員のみで実施。避難経路図を園内各所に掲示している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			令和3年度は該当ケースなし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事提供は行っていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットの記録、報告を行い、職員間で共有している。	